



学校運営協議会だより



「すべては子どもたちのために」

～チーム Tokuriki からオール Tokuriki へ～

1 学校運営協議会が開催されました

さいたま市教育委員会よりコミュニティ・スクール実施校の指定を受けてから、本年度で3年目となります。学校と保護者や地域の方が「教育の当事者」として、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」をさらに進めていきます。徳力小学校は、推薦を受けた保護者・地域の代表の方8名と教職員4名の12名で、5月8日に第1回目の「さいたま市立徳力小学校学校運営協議会」を開催しました。

昨年度は、3回の学校運営協議会を開催し、徳力小学校の今後の方針や抱える課題について熟議しました。

今年度は、その課題の解決に向け、具体的方策を出しながら、学校、家庭、地域がさらに連携して取り組んでいきます。そして、「地域とともにある学校づくり」を目指していきます。

2 第1回の熟議内容

本年度、徳力小学校をさらに、コミュニティ・スクールとして成熟するよう、「笑顔であいさつ」「地域の教育力の活用」の2点について熟議を行いました。

熟議① 笑顔であいさつについて



① 高学年の意識を高める

- ・班長があいさつをすると班員もあいさつする
→朝会や一斉下校で班長をほめる
- 定期的に管理職を先頭に学校職員全体で児童をほめる
- 学校からのたよりや学校Webページにてあいさつがよくできる旨発信する

② 意見・案

- ・地域全体であいさつする雰囲気づくりは大事である
→保護者へのさらなるアピールが必要
- ・できていることに目を向けてもらう
- あいさつができていないことを沢山ほめる
- ・気持ちの良いあいさつ、笑顔であいさつを意識させる
- できていることを評価する事は大切、重要
- ・大人側から、あきらめず声をかける
- ・あいさつ素敵班などの表彰をしたらどうか
- ・小中連携、高校との連携を進めていきたい

熟議② 地域の教育力の活用について



① 地域の人材を活用できる場面

- ・地域の人材を発掘していきたい(オールトクリキをさらに発信する)
- ・5・6年生の家庭科(調理実習やミシン)→ミニデイサービスげんき塾(校舎併設の施設)や保護者などに呼びかけ
- ・3年生の社会科の授業(消防)
→地域の消防団に呼びかけ
- ・1年生の生活科の授業(昔遊びや凧づくり)
→ミニデイサービスげんき塾(校舎併設の施設)に呼びかけ
- ・校庭環境整備(樹木の剪定など)
→地域在住の植木屋さんに呼びかけ
- ・クラブ活動での指導補助
→高校との協働

② 地域の施設等の活用

- ・学校に併設されているミニデイサービスげんき塾(校舎併設の施設)を活用する
- ・公民館や社会福祉協議会を活用する

今年度の学校運営協議会は、年間3回を予定しています。次回は、10月開催の予定です。2回目の学校運営協議会では、今回熟議した内容の進捗状況、課題克服に向けた取組が順調に進んでいるかなどを確認していきます。

「地域とともにある学校づくり」のため、これからも学校運営協議会を中心に活動していきます。

本校運営協議会だよりを御覧になられている全ての皆様の御協力が欠かせません。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。